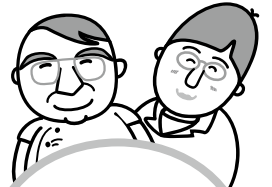


『鼻』胃カメラ ライフ!

平成19年7月28日(土曜日)開催



今回の講演者は
院長 藤原正隆
副院長 藤原祥子
です。

経鼻的内視鏡の復習

今回は苦しくない胃カメラ検査として注目を浴びている『鼻』胃カメラ(正式には経鼻的内視鏡)検査を、院長が実験台となって、皆様にご覧いただきました。

第37回健康教室(消化器疾患の最新テクノロジー)でも経鼻的内視鏡は取り上げましたので、ここでは簡単におさらいしておきます。まず経鼻的内視鏡とは、内視鏡を経鼻的に鼻から胃に挿入する検査方法(経鼻法)です。なぜ鼻から入れるのかということ、表一にあるような、利点があるからです。特に咽頭反射が殆ど起こらず、「げえ」とならないので、従来の経口法のしんどさは殆どありません。

(院長の「鼻」胃カメラ体験記も合わせてお読み下さい。)

但し、鼻中隔の彎曲、慢性的鼻炎などで粘膜が腫れていて鼻腔が狭くファイバーが通らない方や、鼻が敏感な方は、今まで通り経口

表1.経鼻的内視鏡の特徴

1. 経口法より経鼻法の方が楽である。
2. 検査中会話ができるので不安が少ない。
3. 内視鏡モニターを見ながら検査を受けられるので、検査中に質問ができる。
4. 検査終了後は日常生活や仕事がすぐできる。

法で行う方がよい場合もあります。もちろん経口法で行っても、ファイバーが細いため、従来の検査よりは楽に感じるはずですが、検査後まれに鼻出血をきたすことがありますが、殆どの場合、数分の圧迫で止血可能です。経鼻法の前処置は、まず、消泡剤のシロップを飲み、胃内の観察をしやすくします。(これは経口法と同じです。)

次に、お薬(鼻の出血予防と腫れをひかせる作用)を鼻腔に噴霧します。(約10分前)それからベッドに仰向けになり、鼻息の通りがよい方を選んでいただき、選んだ方の鼻腔に麻酔剤のビスカス(ゼリー)を入れます。(約7分前)しばらくすると麻酔剤がのどにたれてきますので、それを嚥下します。(軽い咽頭麻酔にもなります。)

それから麻酔した鼻腔にビスカスを塗布したゴムのカテーテルをそっと挿入します。(約3分前)うまく通ればそのままカテーテルを留置します。そして検査前にカテーテルを抜去し、左側臥位で検査します。

院長の場合…(㊦)

院長がライブ実演の前に、予行演習

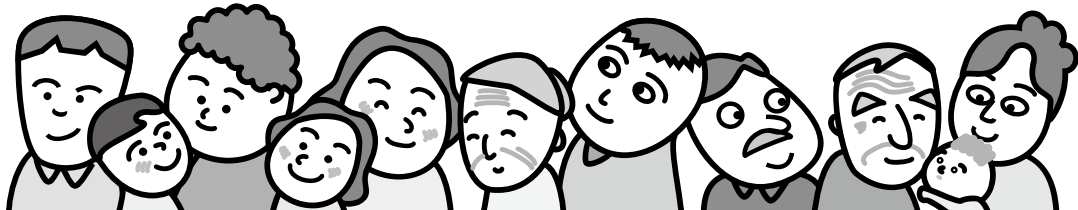
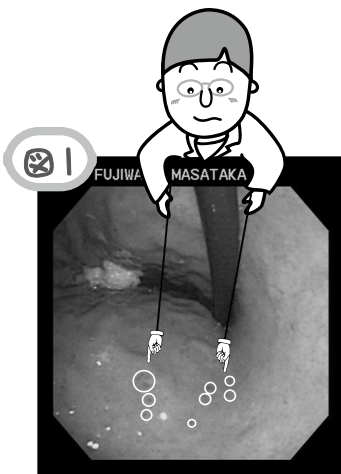
次回 健やか老いる

平成19年10月27日(土)開催
午後3時から(午後2時45分開場)

医療法人祥正会 藤原内科 2F会議室にて
講演者は 藤原内科院長 藤原正隆です

高齢者の方ならごなれども、「年をとっても人の世話にはなりたくない。」「死ぬんだったら口と舌と逝きたい。」「と思っておられるでしょう。また「生き甲斐がない。」「と嘆く方もいらっしゃいます。高齢化社会に向かつて、年をとるとどうやって生きていくべきか生きるコツについて、皆さんと語り合いたいと思います。

で行った検査(7月1日)の結果では、㊦のように、かなり強い胃炎が存在し、ヘリコバクター・ピロリ菌が陽性でした。小さな潰瘍もあったので、ヘリコバクター・ピロリの除菌療法(2回目)を行いました。また鼻炎が強くなり、ファイバーの通過はよこつという状態でしたので、鼻粘膜の炎症を抑える治療も行いました。さて本番ではうまくいったのでしょうか?





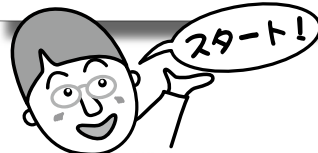
③ 鼻の麻酔中。もうまな板の鯉状態です。



② さあ、いよいよライブ開始です。



① 検査前でいっぴく緊張気味の院長。



「鼻」胃カメラ・ライブ!



④ いよいよファイバーの挿入です。
うまく入るかな…?



⑤ 「さあ、食道に入りますよお」



⑥ どうですか？この余裕(?)の笑顔!

院長の感想
4週間前に予行演習をしいたせいか、予行演習の時よりもさらに楽でした。検査中に副院長にツッコミを入れる余裕もありました。肝腎の胃の方は、除菌療法の効果があつてか、だいぶよくなつてはいましたが、まだ赤いところが目立ちました。殆ど自覚症状はないのですが、医師という職業はけっこうストレスがかかっているんだなと改めて思いました。私は横になっていたのでよくわからなかったのですが、スタッフから、「皆さん、立ち下がって覗き込んでおられましたよ。」と聞いて、来ていただいた皆様には満足して帰っていただけたのではと目負しております。



⑨ 皆さん、満足していただきましたでしょうか?



⑧ 「十二指腸の長さはこのくらいです。」
と質問に答える副院長。



⑦ ああ、終わったあ!ホッと一息。



医療法人祥正会

藤原内科

〒606-0864 京都市左京区下鴨高木町39の5 TEL:075(781)0976 FAX:075(706)3181
e-mail : mf_0618@ares.eonet.ne.jp URL: http://web.kyoto-inet.or.jp/people/mf_0618

Design: J Yasu